

## 高校生が食農教育の先生役 地域の魅力を小学生へ伝える



▲肉用牛についての授業をする長野海翔君

県立種子島高校生物生産科3年生7人は7月9日、南種子町立長谷小学校で出前授業を行い、地域の農畜産物や特産品の魅力を小学生に伝えました。

授業は、地域資源活用学習の一環として実施され、高校生は自ら調査・研究した成果を基に、「サトウキビ」「安納いも」「茶」「肉用牛」「レザーリーフファン」「塩」「能野焼き」など、種子島を代表する農畜産物や地域資源について、写真や資料を用いながら紹介しました。

高校生が先生役となって地域の魅力を発信することで、小学生が地元農業や特産品への理解を深める機会となりました。学校間の交流を通じて、地域資源への関心を高め、食農教育の推進と郷土愛の醸成につながる取り組みとして期待されます。

## 第9回種子屋久農業協同組合 青色申告会総代会を開催

6月30日、「第9回青色申告会総代会」が開催されました。開会にあたり池山喜一郎会長が挨拶を述べた後、中種子総代の園中孝夫氏を議長に選出し、第1号議案から第5号議案までの協議を行い、すべての議題が原案通り承認されました。

今年度の基本方針では、「頼れる相談窓口」として組合員に寄り添う体制の強化や、記帳代行業務のさらなる効率化を掲げています。

また、ニーズに安定して応え続けるため、職員の技能向上や長期的な人的体制の整備に注力していく方針が確認されました。総代会終了後は、令和8年度税制改正の最新情報や収入保険制度に関する講話が行われました。



▲挨拶をする池山喜一郎会長

